

# 令和5年度 学校経営方針

## 1. 教育の基本方針

人格の完成をめざし、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な市民の育成を期す。

## 2. 校訓・スローガン

誠実 ・ 正義 ・ 剛健

—ともに学びともに育つ—

「命」・「学び」・「感性」

## 3. 教育目標

18歳になった時の生徒の姿をイメージし、生きる力を保障する中宮中の教育  
すべての生徒に、自分と社会を結びつけて考え、行動できる力を育成する

## 4. めざす子ども像

《人を大切にする生徒》

《責任をもって自己決定できる生徒》

《自分で考えて行動できる生徒》

### ■重点目標

- ①研究授業や校内研修、教科部会を通じて、「主体的・対話的で深い学び」「協働的な学び」「個別最適な学び」の視点から授業づくりと学習評価の充実をはかり、すべての生徒の「学び」を保障し、「学ぶ力」を育てる。
- ②総合的な学習を核としたカリキュラムマネジメントにより、「中宮中キャリア教育」を充実させ、生徒に変化していく社会を「生きぬく力」を育て、すべての生徒の希望する進路を実現する。
- ③教職員が一体となって取り組む組織的な生徒指導体制のもと、「発達支持的生徒指導」「開発的生徒指導」の視点に立ち、学級・委員会・生徒会など自治、自律の活動を通じて、生徒の自己有用感・自尊感情を育てる。
- ④生徒の生活の背景を把握し、思いに寄り添う組織的な支援と、すべての生徒の居場所がある学級・学校づくり、的確な機関連携により、不登校の解消、子どもの安全安心の確保を実現する。
- ⑤すべての生徒の「自立」に向け、「障害」について考える教育や合理的配慮の視点に立った支援、環境と授業のUD化など、「ともに学び、ともに育つ」教育を推進する。
- ⑥人権・道徳教育と仲間づくりの充実により、いじめなどの差別・偏見を見抜き、許さない確かな人権意識と、自他の違いを認め、互いを大切にする共感力と行動力を育てる。
- ⑦保護者・地域との連携充実、校区小中一貫教育の推進により、中宮中校区の保護者・地域、小学校とともに、中宮の子を育てる「地域とともにある学校」となる。
- ⑧生徒に向き合う時間を確保する視点から、事務作業の軽減と機能的な学校運営を図っていく。

## 5. 本年度の具体的取り組み事項

### ■確かな学びと自立の力を育む教育の充実

#### (1) 学力向上(学ぶ力を育てる)

- ①対話的なグループ学習や、ICTを有効に活用して、生徒が主体的に学びに参加し、深く思考し学ぶ授業を行い、生徒の「自分と向き合う力」「自分を高める力」「他者とつながる力」を育てる。
- ②効果的な単元計画提示と学習評価の充実により、生徒の「学習意欲」と「学ぶ力」を向上させる。
- ③授業と関連付けた家庭学習課題、AIドリル等ICT教材を活用し、自学学習力を育成する。
- ④小テスト、補充学習、ICT活用などで基礎学力の定着を図り、課題のある生徒の学力を保障する。
- ⑤配慮を要する生徒の状況を把握し、教育的ニーズの整理を行い、授業のUD化や困り感に寄り添った合理的支援により、すべての生徒の学びを保障する。

#### (2)社会の中で他者と支え合い自立する力の育成

- ①総合的な学習を軸としたカリキュラムマネジメントと、キャリアパスポートを活用などキャリア教育の充実により、「自分と社会を結び付けて考え、行動することができる生徒」を育成する。
- ②一人ひとりの生き方を考える進路学習と、生徒が主体的に進路を選択するための適切なアドバイスと支援を行い、すべての生徒の希望する進路を実現させる。

### ■豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

#### (3)支援教育・人権教育の充実

- ①生徒の状況を踏まえ、生徒、保護者の思いに寄り添い、個に応じた支援教育により、すべての生徒に社会での「自立」に必要な力を育む。
- ②同和教育、在日外国人教育、多文化共生教育、障害理解教育、ジェンダー平等教育など社会にある人権課題や戦争への正しい理解を深め、平等・共生社会と平和実現への実践力を育む。
- ③いじめなど身近な人権侵害を見逃さず、自分たちの力で解決する取り組みと、学年・学級での「ともに学びともに育つ」教育を推進し、生徒に豊かな人権意識を育み、行動力を育成する。
- ④子どもを「権利の主体」として尊重し、授業や生徒指導などの日々の教育活動の在り方について、検証し、生徒が自他の人権の大切さを実感できる教育を実現する。

#### (4)生徒指導の充実

- ①報・連・相を徹底して組織的な生徒指導を実践し、生徒が安心して学べる学校を実現する。
- ②学級、学年集団づくりを生徒指導の土台に据えた「開発的生徒指導」により、自治・自律力のある生徒を育てる。
- ③薬物乱用防止教育やメディアリテラシー教育、交通安全教育、防災教育により、自らの命と健康を大切にす知識と意識を育む。
- ④組織的な日常の見守りに加え、生活アンケート、Q-Uテスト、ICTを活用した「気持ちの可視化」「SNS相談」を併用し、教育相談体制を整え、生徒の思い、困り感をきめ細やかに把握し、寄り添う指導を充実させる。
- ⑤いじめ・不登校・虐待に対する教職員の意識と指導力を高め、未然防止と早期発見、的確な初期対応に組織的に取り組み、生徒を全力で支援、問題を解決する。
- ⑥配慮と支援が必要な生徒についてのアセスメントと的確な外部機関連携で、生徒の安全を守る。

#### (5)道徳教育の充実

- ①教科書の読み物教材を中心に、問題解決的な学習や体験的な学習を適切に取り入れた道徳の授業及び、学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度を育成する。

## (6)健やかな体と心を育む教育

- ①体力向上や食育、睡眠学習、スマホ依存、命と性に関する教育など生徒の実態を踏まえた学習の機会を設け、啓発に取組み生徒の体と心を育てるとともに、家庭の意識啓発をすすめる。
- ②性に関する指導を通じて、生徒が性に関する課題に適切に対応できるよう正しい知識を身につけ、実践するとともに、自他を尊重する態度の育成を行う。

## ■教職員の資質と指導力の向上

### (7)教職員研修の充実

- ①服務研修や人権教育に関わる研修、セルフチェックなどにより、生徒に範を示す立場にある教育公務員であることを常に自覚して行動する資質を涵養する。
- ②学力向上担当を中心に、校内研修・教科、ミニグループの研究授業・教科会議での授業プラン研究討議などに組織的に取り組み、「主体的・対話で、深い学び」の授業力を身に着ける。
- ③効果的なICTの活用研修と環境整備を進め、効果的な授業改善や業務改善をすすめる。
- ④生徒指導主事を中心に生徒指導の実践や学級づくりなど課題に則した生徒指導研修に取組み、個々の教員の指導力の向上を図る。
- ⑤大人教や府外教が主催する研究会への参加や、人権課題に関わる校内研修、社会問題に関する情報共有を推進し、教職員が確かな人権意識、人権に関する知識と指導力を身につける。
- ⑥ローテーション道徳を活用した道徳の指導力の向上と評価の充実・改善に取り組む。
- ⑦学校教育目標の達成に向け、諸調査のデータや生徒の実態を踏まえたPDCAサイクルを働かせ、カリキュラムマネジメントに取り組む。

## ■学びのセーフティネットの構築

### (8)小中連携の充実

- ①校区小中学校で育てる児童・生徒像を共有し、義務教育9年間の学びを見据えて系統的な学力向上・生徒指導・キャリア教育など校区一貫教育を推進する。
- ②推進委員会、生徒指導部会、事務部会、支援教育部会などで校区小中学校の教員の顔が見える交流、情報共有を実現する。

### (9)危機管理

- ①食物アレルギー疾患への対応、熱中症、感染症対策等において組織的に取組み、生徒の命と安全を守るとともに、自他の生命を大切にすることを育むための取組みを行う。
- ②自然災害・不審者侵入・交通事故等に対する安全教育、防災教育を充実させ、生徒に生涯を通じて安全に生活を送る基礎や危険に適切に対応する力、自分自身を守るために主体的に行動する態度を育み、地域の一員として小学生や地域の災害弱者を守れる生徒を育てる。

### (10)家庭・地域との連携の推進・充実

- ①これからの学校の在り方と地域連携の構築に向けて、PTA、地域教育協議会やコミュニティなどの地域団体との情報交換、取組み参画の在り方を考え、地域の学校としての役割を果たす。
- ②日常の教育活動について学校便りや学年通信、保健だよりなどの発行物、ブログなどの小まめな情報発信を進めるとともに、新学習指導要領と評価、学校の授業改善や業務改善など新しい取組みについてもわかりやすい情報発信に努め、理解、協力を促進する。

# 令和5年度 中宮中学校 グランドデザイン

すべての生徒に、自分と社会を結びつけて考え、行動できる力を育成する

## 子どもの実態

- あいさつができて、他者とつながろうとする姿勢が見られる
- 与えられた課題に積極的に取り組む生徒も多いが、自ら課題を設定し解決することが苦手である

## 子どもの発達をどのように支援するか ○配慮を必要とする子どもへの指導

- 個に応じた指導の充実
- 全教職員での組織的な対応
- インクルーシブ教育の理解と実践

## めざす子どもの姿

- 人を大切にする生徒
- 責任をもって自己決定できる生徒
- 自分で考えて行動できる生徒

## 豊かな人間性

- 違いを認め合い、自分も仲間も大切にする生徒
- あいさつや感謝の言葉を言える生徒
- 目標を持ち、実現のために努力できる生徒

## 健康・体力

- 規則正しい生活（栄養・睡眠・運動）
- 命・性・健康知識に関する知識の習得
- 清潔・安心・安全な教育環境の整備

## 資質・能力の育成

### 何ができるようになるか ○学校教育の基本

- 異なった考えや価値を認め尊重することができる（知る）
- 他者と意見交流することで考えを広げ深めることができる（つなげる）
- 自分の考えを的確な言葉で表現することができる（行動する）

### 何が身に付いたか ○学習評価を通じた学習指導の改善

- 異なった考えや価値を認め尊重している（知る）
- 他者と意見交流することで考えを広げ深めている（つなげる）
- 自分の考えを的確な言葉で表現している（行動する）

### 何を学ぶか ○教育課程の編成

- 学びの楽しさ
- 学びのつなげ方
- 学びの深め方

### どのように学ぶか ○教育課程の実施

- 知る＝課題と出会う
- つなげる＝情報を集めて整理・分析し、発表する
- 行動する＝自ら考えて行動する

### 実施するために何が必要か

#### ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 「SDGs」をナビにした「総合的な学習の時間」を軸にした教科等横断的な教育課程の編成
- 教育目標を共有して学び続ける教職員集団となり、教科会・学年会などチームで「学びのデザイン」を作る

#### 安心・安全を守る

- 災害や事故から身を守るための教育（避難訓練・防災教育）
- 豊かな人権感覚を育む
- 施設の安全点検などの危機管理

#### 地域とともにある学校づく

- 学校・地域・保護者が子どもの教育に責任を持ち、子どもとともに学ぶ学校